

## 鶴川中学校・鶴川第一小学校・大蔵小学校

## 教員も、児童・生徒も！ 小・中が理解し合い、スムーズな接続へ

## 連携その1 防災教育デーの取組

毎年、中学3年生と小学6年生が、避難施設の設営やマンホールトイレ等の使用方法を共に学んでいます。小・中連携を推進し、児童・生徒の防災意識を高め、災害時には地域に貢献できるよう、防災技能の向上を図っています。また、自主的に小学生を誘導したり、よい姿勢で整然と並んで真剣に学習したりする中学生の態度は、小学6年生にとってよい見本となっています。



いざというときには、自分たちにもできることがある！

## 連携その2 中学校の説明会と部活動体験

毎年9月の土曜日に、鶴川中学校の「観て見て鶴中」が小学生と地域の方々に公開されます。小学生たちは、吹奏楽部の演奏や様々な部活動の体験を楽しんでいます。3学期には、鶴川中学校の生徒会役員が各小学校を訪問し、6年生に中学校生活を説明します。6年生が中学校生活への見通しをもつことができる貴重な機会です。



中学生になったら今よりも、自主的に行動することが大切だとわかりました。

## 連携その3 三校教員合同研修会連絡会

毎年6月頃に、鶴川中学校区の3校が持ち回りで、授業公開と協議会をしています。協議会では、毎年、テーマに応じた分科会を作り、そこで検討したことを全体会で共通理解し、各学校での授業改善に活かしています。2018年度は、「小学校・中学校の教育活動全般における情報交換と、連携できることの模索」をテーマに9分科会で話し合い、教科指導や生活指導のあり方について、共通理解が進みました。



小中の教育内容を互いに理解し、共同実践することが大切です。

9年間の育ち支える、学びつなげる  
まちだの小中連携

市立小・中学校では、小中9年間を見通して、小・中学校の教育活動の連続性を確保し、学力の向上に向けた取組や心身の発達段階に応じたきめ細やかな指導を行うため、地区ごとに小中が連携した様々な取組を行っています。

## 南成瀬中学校・南第二小学校・南成瀬小学校

## 9年間を見通した児童・生徒の育成 ～心身ともに健康な児童・生徒の育成をめざして～

## 連携その1 小学生部活動体験

夏休み中に、南第二小学校と南成瀬小学校の6年生約70名が、南成瀬中学校で部活動を体験しました。事前にとった希望調査に基づいた2種類の部活動に参加し、中学生から指導を受けました。

参加した小学生からは「楽しかった」「中学校での部活動が楽しみ」などの声も聞かれ、中学校生活への期待が膨らんだ様子がうかがえました。



中学生がバスケットボールの基本的な動きを小学生に教えています。



パソコン室では小学生と中学生が交互に座り、中学生が小学生のパソコン操作等のサポートをしています。

## 連携その2 小中合同教員研修会

2018年度は3校で、3回の小中合同教員研修を実施しました。1回目の南第二小学校での研修では、協同的探究学習について協議会を行いました。2回目は、学校医を招き、ユニバーサルデザインを基本とした適切な板書法などについて研修しました。

さらに、3回目は、南成瀬中学校の道徳の授業研究をもとに、小中の道徳の授業のあり方について協議しました。3回の研修会を通して、指導の有効な手立てを共有することができました。



〈第1回 協同的探究学習 協議会〉



〈第3回 道徳授業研究 全体会〉

## 連携その3 小学校連合運動会

南成瀬中学校で小学校連合運動会を開催し、南第二小学校と南成瀬小学校の6年生約130名が参加しました。2018年度は、南成瀬中学校の生徒が主導し、ラジオ体操や陸上競技のクラウチングスタートの体験をしました。小学生は中学校の広いグラウンドで、陸上競技の専門的な技術の習得等、いつもの授業とはひと味違った体験をしました。また、中学生は緊張しながらも、小学生の手本となることにより、中学生としての自覚と自己有用感を高めることができました。



中学生がリードしてラジオ体操を実施。

## 第10回中学生「東京駅伝」大会 総合第2位！

2月3日（日）、アミノバイタルフィールド・都立武蔵野の森公園特設周回コースにて、第10回中学生「東京駅伝」大会が開催されました。本大会には、都内23区、26市、1町の50の自治体が参加し、各市区町において中学校2年生から選抜された選手で結成した駅伝チームが、優勝を競い合いました。

町田市の代表チーム「チーム町田」は、男子の部で第5位、女子の部で第2位と素晴らしい成績を収め、男女のタイムの合計で総合第2位に輝きました。今大会の女子チームのタイムは町田市における最高記録を更新しました。



▲今年も大健闘のチーム町田